

北イタリア安全対策情報 2021年10月～12月

1 治安情勢

(1) 当地では、更なる新型コロナウイルスの感染拡大により、入国制限措置が継続され、邦人を含めた観光客が極めて少ない状況が続いています。しかしながら、2021年のイタリアの刑法犯認知件数は、毎年減少傾向にあるものの1,849,253件となり、それは日本の約3倍にも及び国民一人あたりの件数にすると6倍の差があることとなります。

特に公共の場における女性に対する性犯罪暴力やオンラインを使用して詐欺被害にあうサイバー犯罪が増加しています。

犯罪にあうリスクを減らすため、基本的な防犯対策を確実に実施しましょう。

(2) イタリア国内でテロの発生及び未遂事案はありませんでしたが、11月17日、IS戦闘員の妻が潜伏先のミラノにおいて、テロ結社目的で逮捕されました。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

(1) 車上狙い2件（参考：7月から9月は3件）

ア 10月上旬、ミラノ市チェルトーザ駅付近のスーパーマーケット駐車場に駐車して買物中、窓ガラスを割られ、鞆等が窃取されました。

イ 12月下旬、ラ・スペツィア市の駐車場に駐車中、窓ガラスを割られ、スーツケース等が窃取されました。

(2) すり1件（同：1件）

11月下旬、ミラノ市サン・バビラ駅付近において散歩中、リュックサックに入れていたポーチが窃取されました。

(3) 置き引き0件（同：1件）

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は次のとおりです。

(1) 殺人未遂・傷害

10月下旬、イタリア人女性（90歳）が、ミラノ市内の自宅でエクアドル人男性（22歳）とペルー人男性（44歳）に頭を殴打されるなどして殺害されました。

12月上旬、イタリア人男性（82歳）が、ミラノ市内の自宅でルーマニア人男性（35歳）にチェーンソー等で切られ殺害されました。

(2) 強盗

11月上旬、ミラノ市ランブラテ地区で、5人組の覆面男性が宝石職人の工房に押し入り、被害者は銃等で脅迫・緊縛された後、金品等を強奪されました。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

特になし

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし